

活動報告：ワークショップ

竹のジャングルジムを作ってみませんか？

平成26年3月1日（土曜日）に、竹のジャングルジムを作るワークショップを開催した。3月始めの少し肌寒い天候であったが、近隣から9家族28名の参加があった。

スタッフは卒業研究で「保育における自然」について学んでいた学生11名と当センター運営担当教員4名、ぶんぶんひろばスタッフ2名であった。学生スタッフは11月に開催された地域の祭りに参加するために、ジャングルジムの試作を3回行っており、手際よく作成方法を教えることができるメンバーであった。

場所は、本学敷地の山手に平成25年4月に整備されたHBGあかねの森（図1）である。HBGあかねの森は約6000㎡の広さの教育施設であり、竹や木の生えている斜面と、活動のための広場からなっている。その最上段の広場にあらかじめ竹のジャングルジムの1基作っておいた。参加者に竹のジャングルジムのイメージを持ってもらい、それを参考にしながら1つ1つの作業を習得してもらおうと考えたからである。

広場上部の階段を降りてゆくと、目の前に竹のジャングルジムが設置されている。小学生や4～5歳の子どもたちは歓声をあげ、その場へ着くなり遊び始めた（写真1）。ジャングルジムは子どもたちにとって、とても魅力的な遊具であることが分かる。一方、小さな子どもたちは保護者に助けられながらこわごわと登ったが、その表情は嬉しそうであった。



写真1 まずは登って遊んでみる子どもたち

次に、竹のジャングルジム作りの経過を示す（写真2～写真9）。



写真2 竹の端を平行に並べてしっかり結わえる



写真3 2本の竹を「くの字」型にする



写真4 土台の四角形を作り、「くの字」型の竹を立てる



写真5 「くの字」型を2組使い、ピラミッド状にする



写真6 竹の横棒を括りつける

作り始めた時は、こわごわと試してみる様子だった参加者がすぐにコツを覚え、皆熱心に取り組んでいた。2本の竹の端を平行に括り^{くく}て捻^{ひね}るという方法は、美術の教員からの提案であったが、力が弱い人でも、しっかりと2本の竹を固定させることができる、簡単で効果的な方法だとわかった。

大人がジャングルジム作りに取り組んでいる間、小学生も竹を括る作業を積極的にやってみようとした(写真10)。上手にできたときはとても嬉しそうであった。



写真7 竹の横棒を横や斜めに渡して変化をつける



写真10 竹を括りつけようがんばる子ども



写真8 完成間近のジャングルジム

また、ジャングルジムを作る大人の側で、子どもたちは学生とともにさまざまな遊びに熱中した。段差のある広場の斜面を利用した坂すべり(写真11)やジャングルジムのためのロープの残りを利用した縄跳び(写真12)、木から吊した長いロープのブランコ(写真13)、竹を組んで電車ごっこ(写真14)、木から木へのロープ渡り(写真15)、竹ポックリ(写真16)、どんぐり拾いなどであった。現代の子どもたちでも、場所や素材を適切に準備すれば自然の中で熱中して遊ぶことが実証され、楽しいワークショップとなった。

(文責：短期大学 保育学科 田頭 伸子)



写真9 2つのジャングルジムの繋いで完成させる



写真11 シートを使った坂すべり



写真12 縄跳び



写真14 電車ごっこ



写真13 長いロープのブランコ



写真15 ロープ渡り



写真16 竹ポックリ

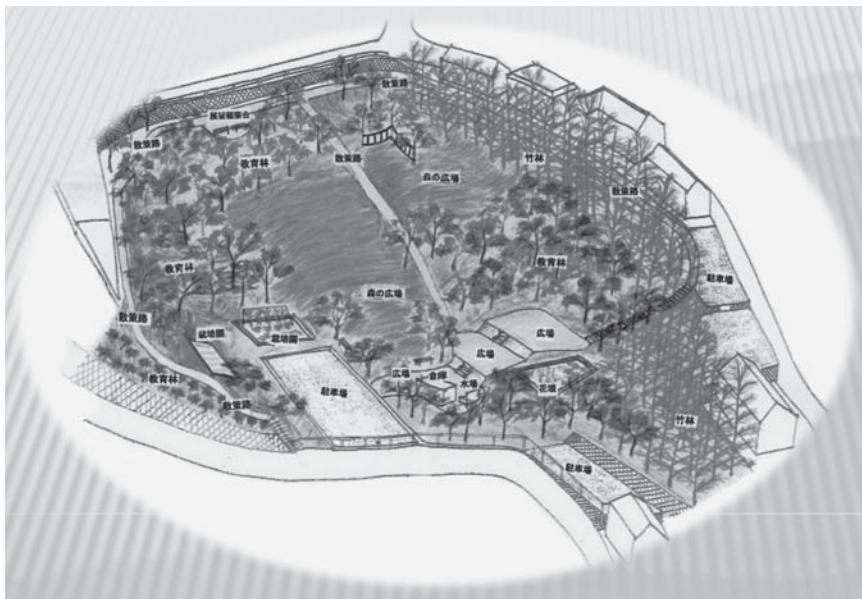


図1 HBGあかねの森の見取り図